

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援ルームすたーとる				公表日		令和 8年 5月 22日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	活動に応じてスペースを分けているので気落ちの切り替えがスムーズに出来ている。	継続して、支援の充実を図る。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	余裕を持って支援出来る人数になっている。	業務内容の見直し、他事業所等の配置を参考にしながら、再検討していきたい。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	バリアフリーが必要な利用児がいないので入口は段差があるが室内はバリアフリーになっている。	利用児の状態や症状に応じ検討する。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	常に清潔に保たれている	継続して、支援の充実を図る。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	相談室をクールダウンや着替え等に使用している。	継続して、支援の充実を図る。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	職員全員で共有し目標設定と振り返りを行っている。	継続して、支援の充実を図る。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・毎年アンケートに協力してもらい、保護者の意向など把握するようにしている	継続して、支援の充実を図る。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員の意見、相談等あれば把握できる環境になっており、業務改善に繋げている。	継続して、支援の充実を図る。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	第三者に依頼はしていないが職員で共有し改善に繋げている。	現在、外部評価は行っていないが必要であれば行っていきたい			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	今後も研鑽しながら取り組んでいく。	市主催研修やオンライン研修等への参加を促す。引き続き、支援の充実を図る。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	支援プログラムを作成・公表している。	継続して、支援の充実を図る。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	児発管を中心に行っている	継続して、支援の充実を図る。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	全職員での共通理解のもとで、検討している。	継続して、支援の充実を図る。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	支援記録の冒頭ページに計画書を組み込み、支援前後に確認できるようにしている。	継続して、支援の充実を図る。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	フォーマル及びインフォーマルなアセスメントを実施している。	継続して、支援の充実を図る。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	放課後等デイサービスガイドラインのねらい及び支援内容も踏まえて、具体的な支援内容を設定している。	継続して、支援の充実を図る。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	2人ずつペアを組み、各週行っている。	継続して、支援の充実を図る。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	週案、月案共に確認し固定化しないようにしている。	継続して、支援の充実を図る。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個の発達状況に応じた課題設定を行っている。	継続して、支援の充実を図る。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎朝朝礼を行い支援の内容を共有している。	継続して、支援の充実を図る。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	次の日の朝礼で振り返りと気付いた点の共有を行っている。	継続して、支援の充実を図る。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援記録を作成している。	継続して、支援の充実を図る。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	児発管を中心に行っている。	継続して、支援の充実を図る。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	こどもの意見を聴き自己選択や自己決定を促すとともに、互いの関わりの中で主体性を発揮し参加できるよう、支援している。	継続して、支援の充実を図る。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	こどもの意見を聴きながら自己選択や自己決定を促すよう支援している。	継続して、支援の充実を図る。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児発管を中心に参加している。	継続して、支援の充実を図る。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	各関係機関と連携し支援を行う体制を整えている。	継続して、支援の充実を図る。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校からの情報が保護者用アプリに移行していることから、保護者と連携しながら、日程の確認を行っている。	継続して、支援の充実を図る。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	所属機関と連携しながら行っている。	継続して支援の充実を図る
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	6	対象児がいないため、現時点では行っていない。	該当児はいないが、必要に応じ対応していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	市担当課や地域の事業所やリハビリ専門職等からの助言等を受けている。	市の関係機関と連携し、助言等を受けている。継続したい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	児童館や図書館へ行っている。	継続して、支援の充実を図る。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	必要に応じて参加している。	継続して、支援の充実を図る。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡帳や送迎時など保護者との情報交換を行っており、課題についての共通理解を持っている。	継続して、支援の充実を図る。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	家族に対してのペアトレは行っていないが、情報提供は必要に応じて行っている。	研修の情報提供は行っており、継続していきたい。家族支援プログラムについては、検討を行う。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	丁寧な説明を心がけている。	継続して、支援の充実を図る。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	子どもや家族の意向も踏まえながら作成している。	継続して、支援の充実を図る。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	保護者に対し支援計画書を示しながら同意を得ている。	継続して、支援の充実を図る。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	送迎時や面談等を通して、気軽に相談できる体制をつくり、助言と支援を行っている。	継続して、支援の充実を図る。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	2	保護者同士の関わりを持つ場を作ることではできなかった。遠足できょうだい児との交流を持つことができた。	継続して、支援の充実を図る。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情はないが窓口の設置や対応できる体制は整えている。	継続して、支援の充実を図る。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	HPやSNS等を通して、情報発信を行っている。	継続して、支援の充実を図る。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報の取扱いに留意し、対応している。	継続して、支援の充実を図る。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	口頭のみで難しい場合は、お手紙等での視覚的な支援も取り入れている。	継続して、支援の充実を図る。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	地域の方を招待するような行事を行うことはできなかったが、近隣施設の行事参加を行った。	継続して、支援の充実を図る。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	定期的な訓練を実施し、保護者へ報告を行っている。	継続して、支援の充実を図る。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	定期的な訓練を実施し、保護者へ報告を行っている。	継続して、支援の充実を図る。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に、診断名や受診歴、服薬等も含め状況確認している。	継続して、支援の充実を図る。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	アレルギーのある児はいないが、苦手な食材等保護者と共有している。	該当児はいないが、必要に応じ対応していきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	必要な研修や訓練等を行っている。	継続して、支援の充実を図る。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	必要な対応を行っている。	継続して、支援の充実を図る。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハット事案はすぐに共有し、再発防止に向けた検討を行っている。	継続して、支援の充実を図る。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修会等を開催している。	継続して、支援の充実を図る。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	現在、身体拘束が必要な利用児はいないが、必要な場合は保護者に十分に説明をし了解を得て、計画に記載していく。	継続して、支援の充実を図る。